

プー ル サ イ ド

新日本スポーツ連盟
東京水泳協議会
2011年4月25日発行
第127号
発行責任者 竹内 正彦

東京水泳協議会 TEL03-3981-1345 Fax03-3981-8315

困難な中でこそ 大好きな水泳を！

新日本スポーツ連盟東京水泳協議会
運営委員長 竹内 正彦

東京水泳協議会第38回総会は、数年ぶりに大幅な増勢の中で華々しく開かれる予定でした。実際に、64クラブ・1,330名（100名増）と、構成員は増えております。

しかし、3月11日「未曾有の」東日本大震災とその後の福島原子力発電所事故の影響で、組織が拡大したことを、手放しでは喜べない状況が浮き彫りになりました。

まず、都内のプールでも、地震により壁や設備そのものが損壊し使用不能となったり、さらに、施設そのものには支障が無くても、「自粛」と「計画停電」により開館しないことが、行政の主流となっています。（4月中頃以降改善されつつあります）

辰巳国際水泳場も、可動式床の不具合により、5月の辰巳大会が開催できなくなり、現在まだ再開の目途が立っていないとのことです。

「カネ・ヒマ・場所」と言われたスポーツの3条件の内の、施設（プール）が無いことには、水泳クラブの練習も、水泳協議会の活動も成り立ちません。

本総会でも、①各区のプール開館状況を調べ、情報交換し合うこと。②自粛ムードに対し、泳ぐ要求が熱く、強く、多いことを、他団体とも協力してアピールしていくこと。などを通じて、泳げる機会を拓げていくことを確認しました。

東日本大震災と福島原発の大事故の影響で、交通機関も不安定な時期に開催された総会から、もうすぐ2カ月になろうとしています。影響は東京にもさまざまなかたちであらわれておりますが、みなさんの普段利用しているプールはいかがでしょうか。東京水泳協議会は、総会后、常任委員会、運営委員会、海の教室関係者会議と開き、加盟員のみなさんが水泳を続けられるように、クラブ活動ができるようにと、各区の担当者に要望するなど努力しました。また、霞ヶ丘プールでの記録会や、東京海の教室を開催する準備も進めました。

いつでも、どこでも、だれでもが、いつまでも、大好きな水泳ができるように、現在のように困難な状況の中でこそ、仲間を増やし、仲間を助け、運営委員一同、会員のみなさんのご協力を頂きながら、新しい企画も検討し活動を積極的に進めたいと考えます。

当面は、「**一緒にがんばろう！東北復興支援 みんなが輝く記録会**」を成功させましょう。

水泳愛好者の要望に応え

どのクラブも2名以上増やそう

第38回東京水泳協議会総会終わる

第38回総会は、2011年3月27日（日）に、練馬区平和台体育館会議室で開かれました。近藤浩子運営委員の司会で、進行。竹内運営委員長の挨拶に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々に対し、全員で黙祷を捧げました。尾崎全国水泳協議会のメッセージが代読された後、来賓として、東京都連盟理事長萩原氏から連帯の挨拶をいただきました

宮久保副運営委員長より、2010年度の総括と、2011年度の方針が提案されました。午前中質疑応答の後、討論は午後行われました。

午後の討論の後、総会議案の採決があり、予算案については、1名の保留がありましたが、他は全員の賛成で採択、決定されました。

2011年度の主な活動

I 水泳愛好者の要求に応えるために

1. 「君が主人公」の魅力ある大会・教室の開催

- 辰巳大会、オールエイジ大会、年齢別大会、中長距離大会、東京水泳フェスティバルの5大会を開催する。（残念ながら、今回の大震災で、辰巳プールの可動床の不具合から辰巳大会は中止。）
- 海の教室は、8月5日（金）～7日（日）館山北条海岸にて行う。
- 水中ウォーキング、アクアビクスなど多様な分野の水泳活動を進め、スポーツとしての水泳の魅力を楽しく広く普及する。
- 空白地域での水泳教室、クラブ合同練習や記録会等、都連盟・各区連盟の協力を得て開催する。

2. 指導員の養成、研修、指導力向上

- 指導員養成学校は、年2回開催する。6月4日（土）・7日（日）、12月。
- 技術講習会兼認定指導員技術研修会は、2012年1月に開催する。

II 仲間を増やし、組織強化を進めます

- 年間150名を増やすために、新しい大胆な発想で、様々な角度から検討する。大会常連参加者に加盟を呼びかける。
- 各区連盟と協力し、水泳記録会や各区協議会クラブ主催行事を開催し、仲間を増やす。
- 水中ウォーキングやアクアエクササイズなど、広く水と関わる愛好者との交流を深める。

III 協議会活動の活性化

IV 活動を支える財政の確立

総会の発言から

- ★わかあゆ 新日本スポーツ連盟が広めてきた「ドル平」が、水連の指導教程に、「ドルヒラ」として取り入れられた。水連との連携交流がもっとあっていいのではないか。泳ぐだけでなく、水中ウォーキングの会が入会したことは嬉しい。
- ★西ヶ丘 水泳練習1時間前に、有志のみ月2回バランスボールやエクササイズをやっているが、4月いっぱい使用中止に。避難者を受け入れているので、会議室の利用不可。クラブ活動がなくても、会費を徴収する意義をこれから検討。
- ★連盟内大会について
 - ・何故子どもだけにメダルを優遇するのか。
 - ・高年齢で水泳を始めた。辰巳のプールで泳げて、メダルをもらって感激。少し高い目標が励みになる。ましてこれから成長していく子どもは、その目標になる。
 - ・フェスティバルの意義は他のオープン大会では圧倒されがちな加盟員に、大会になれて欲しいこと。また、プールで交流が持てるように。これから育つ子どもたちには自信につながるように。泳ぎ始めた子どもたちを励ましたい。
 - ・子どもたちの力はスゴイ。幼児たちとその応援の若いお母さんたちがいい。
 - ・平均72歳には、このレベルの大会がうれしい。
- ★プール使用が困難な中、練馬区から「近隣の方もどうぞ。」という話があった。出来るプールで記録会などをやっていかないと、協議会の運動が継続していかない。
- ★東日本大震災の影響で、夜間閉鎖しているプールや、全面閉鎖しているプールがある。水泳協議会として、調査して知らせてほしいという意見もあった。

交流会 ごほれ話

- 65歳から水泳を始めて80歳になった。
- 背泳ぎ講習会に参加して、楽に泳げるようになった。
- 30年前、子どもの付き添いではじめ、20年前に自分自身が入会した。
- 水中ウォーキングを勧められて入った。
- フェスティバルにはじめて参加。海の教室にも参加したい。
- 水泳を始めて25年。昨年腎臓移植し、健康の喜びを再確認。
- クラブの連絡は、メールでしている。PCの達人がクラブの中にいる。
- 加盟クラブのよさ。仲間で支え合い、仲間がいるから泳ぎ続けることが出来る。
- 区は、中止や停電などマイナスのことにはすぐ対応するのに、再開、ましては新しい試みにはなかなか応じない。状況を把握し、どうやったら出来るか要望を出す。待っていてはダメ

運営委員会報告

○ 総会の席上承認された運営委員の役割分担が決まりました。紹介します。

- ・運営委員長 竹内正彦
- ・副運営委員長 宮久保加乃子、穴原康子
- ・総務部 部長 佐藤正男、副部長 宮久保加乃子、簗島恵利（財政）、須山 清、井川知子。
- ・技術部 部長 鈴木和代、副部長 穴原康子、竹内正彦、板越しのぶ、杉本 勝。
- ・事業部 部長 白井 薫、副部長 金村恵子、丸橋みち、山本町子、桂川慎吾、鎌田京子、小越真理子、谷田部満子。
- ・常任委員会 竹内正彦、宮久保加乃子、穴原康子、佐藤正男、鈴木和代、白井 薫、金村恵子

○ 3月に東日本を襲った大地震と津波、そして福島原子力発電所のレベル7という大事故。被災された方々は、厳しい避難生活に耐え、生活の再建にと頑張っています。東京水泳協議会が呼びかけました**東日本大震災の被災者救援募金**の取り組みには、加盟クラブ・個人加盟員より、4月25日現在**228,720円**（東京水泳協議会は財政より50,000円を拠出しました）の温かい募金が寄せられました。また、被災地で必要としている物資も届けられました。心からお礼申し上げます。4月24日ボランティアとして、都連盟理事長他4名が、宮城県石巻市に皆さんから届けられた物資を積んで出発しました。募金は全国連盟にまとめます。被災地への救援は持続的に行う必要があると思います。引き続き救援・復興募金をよろしく願いします。

○ 計画停電とそれに伴う交通機関の運休など、私たちの生活にもさまざまな影響を与えました。私たち水泳をする者にとっては無くてはならないプールが使えない状況の中で、辰巳大会が中止となり、みんなと一緒に泳ぐ機会をなんとか確保したいと、7月に**霞ヶ丘プールで記録会**を開催します。被災者のみなさんを励まし、一緒に頑張ろうとの思いを込めて、たのしく泳ぎましょう。

○ 辰巳プールに関しては、7月いっぱい休止としか分からず何の進展もありません。5月中頃までに、都連盟と一緒に東京都スポーツ振興課に要請に行きます。

3月総会の頃には、**各区のプール事情**も非常に不安定でしたが、4月中頃からプールの再開状況も変化してきました。文京区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・中野区・練馬区・杉並区・荒川区・板橋区・足立区・葛飾区・江戸川区・世田谷区などでは、平日夜間休止、土・日・祭のみ通常通り、また5月からは通常通りなど形態はさまざまですが、プールは再開されつつあります。

江東水泳連絡会では、4月20日に江東区スポーツ振興課に要請を行い、5・6月は夜間も含め通常通りに利用できることになりました。このニュースがお手元に届くころには、状況はもっと変化している事と思われます。

○ 人災とも言える東電の原発放射能漏洩事故、この影響も考え討議しましたが、宮城や岩手の被災者もお誘いしよう、海で泳ぎ、何日か一緒に生活することでみんなが元気になれるようにと考え、今年も**海の教室は開催**します。